

県政モニター事業についてのアンケート結果

モニター活動を通じて感じられたこと、改善点やご提案など、平成26年度県政モニターの皆さんから率直なご意見をお聴きし、今後の県政モニター事業の参考とさせていただくために、アンケートを実施いたしました。

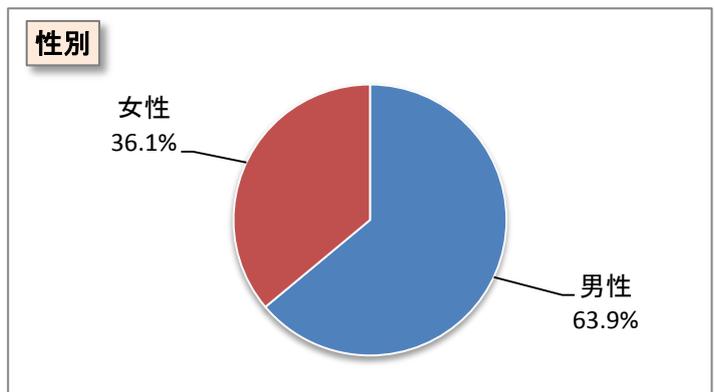
- ★ 調査時期 : 平成27年2月
- ★ 対象者 : 県政モニター396人
- ★ 回答数 : 277人 (回収率 69.9%)
- ★ 担当課 : 広報課

(※四捨五入により、割合の合計が100.0%にならない場合があります。)

【回答者の属性】

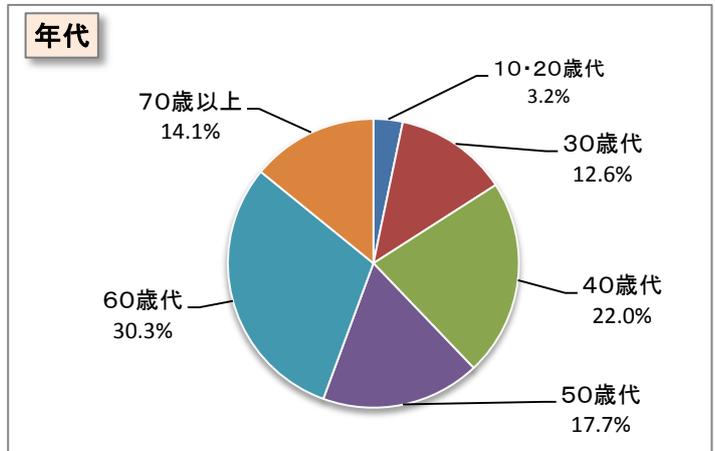
◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	177	63.9%
女性	100	36.1%
合計	277	100.0%



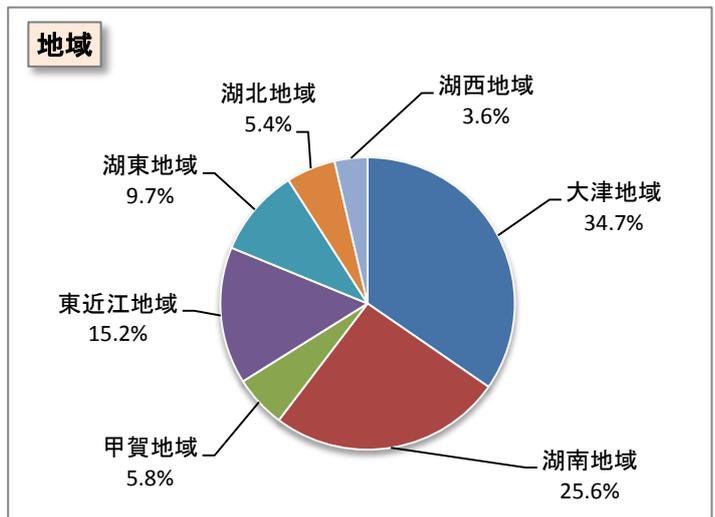
◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	9	3.2%
30歳代	35	12.6%
40歳代	61	22.0%
50歳代	49	17.7%
60歳代	84	30.3%
70歳以上	39	14.1%
合計	277	100.0%



◆地域

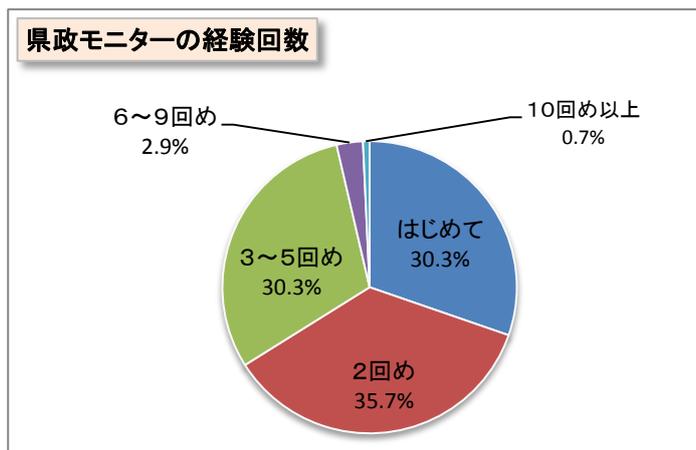
項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	96	34.7%
湖南地域	71	25.6%
甲賀地域	16	5.8%
東近江地域	42	15.2%
湖東地域	27	9.7%
湖北地域	15	5.4%
湖西地域	10	3.6%
合計	277	100.0%



【問1】県政モニターを務められるのは、今回（平成26年度）で何回めですか。

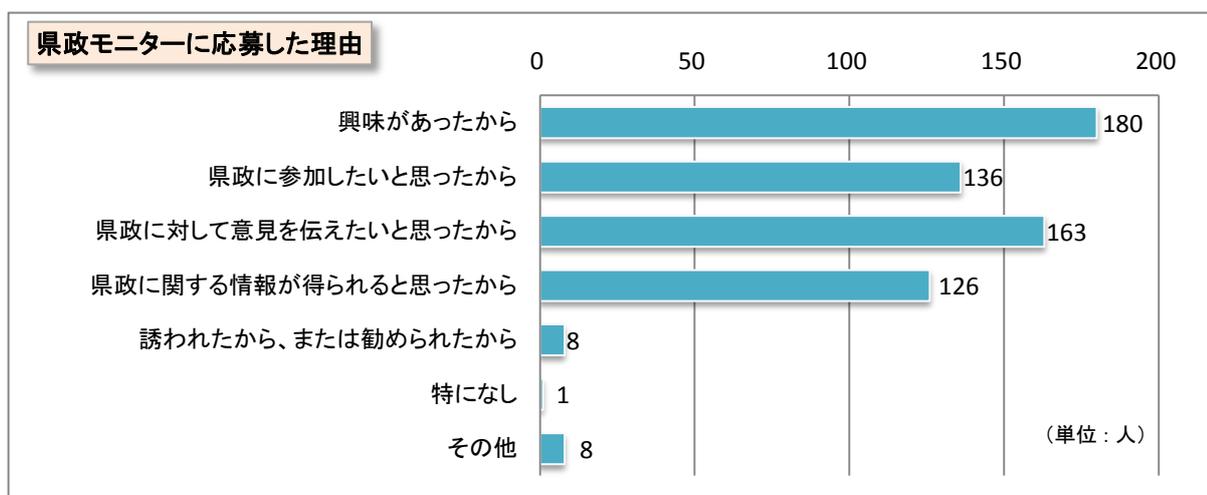
（回答チェックは1つだけ n=277）

項目	人数（人）	割合（％）
はじめて	84	30.3%
2回め	99	35.7%
3～5回め	84	30.3%
6～9回め	8	2.9%
10回め以上	2	0.7%
合計	277	100.0%



【問2】県政モニターに応募された理由は何ですか。次の中からあてはまるものをいくつでもご回答ください。（回答チェックはいくつでも可 n=277）

項目	人数（人）	割合（％）
興味があったから	180	65.0%
県政に参加したいと思ったから	136	49.1%
県政に対して意見を伝えたいと思ったから	163	58.8%
県政に関する情報が得られると思ったから	126	45.5%
誘われたから、または勧められたから	8	2.9%
特になし	1	0.4%
その他	8	2.9%



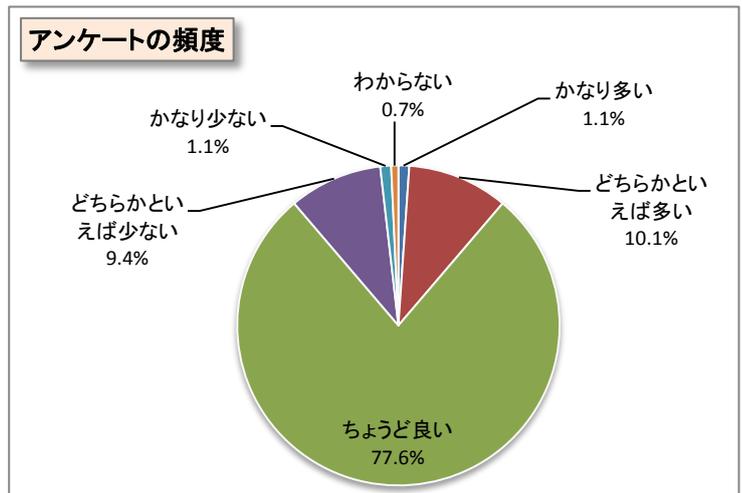
※平成 26 年度は、5 月から 1 月までに以下の 19 件のモニターアンケートにご協力いただきました。

<今年度実施したアンケート>

- 5 月 食の安全・安心について
- 6 月 日本人住民と外国人住民の共生について
滋賀県の行財政改革の取組について
- 8 月 将来目指すべき滋賀の姿について
暮らしの安全・安心情報番組「しらしがテレビ」について
- 9 月 滋賀県の安全・安心情報の配信について
滋賀県における低炭素社会づくりの推進・地球温暖化対策に関する取組について
- 10 月 医薬品の適正使用について
中部圏・北陸圏との連携について
市街地における道路の満足度について
びわ湖の日について
- 11 月 県民が求める牛肉について
男女共同参画社会づくりについて
滋賀県国土利用計画について
- 12 月 文化について
健康情報の発信について
- 1 月 人権啓発事業について
NPO 法人に関する意識について
豪雨災害に関する意識について

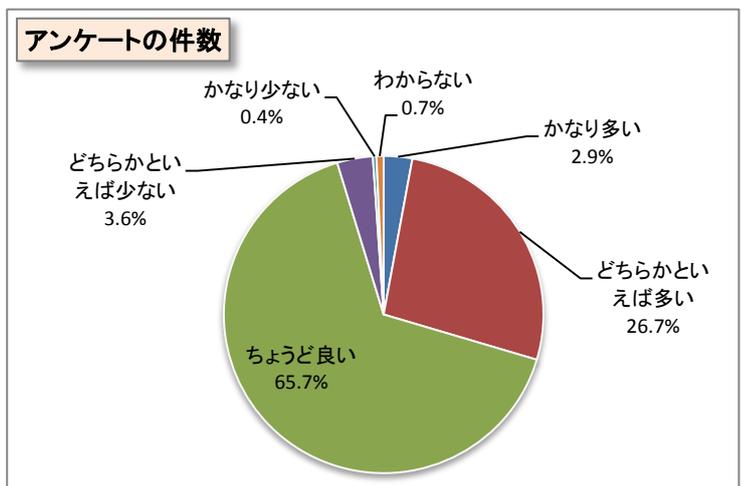
【問 3】アンケート依頼のメールをお送りする頻度（月に 1～2 回）について、どのように思われますか。
（回答チェックは 1 つだけ n=277）

項 目	人数（人）	割合（%）
かなり多い	3	1.1%
どちらかといえ ば多い	28	10.1%
ちょうど良い	215	77.6%
どちらかといえ ば少ない	26	9.4%
かなり少ない	3	1.1%
わからない	2	0.7%
合 計	277	100.0%



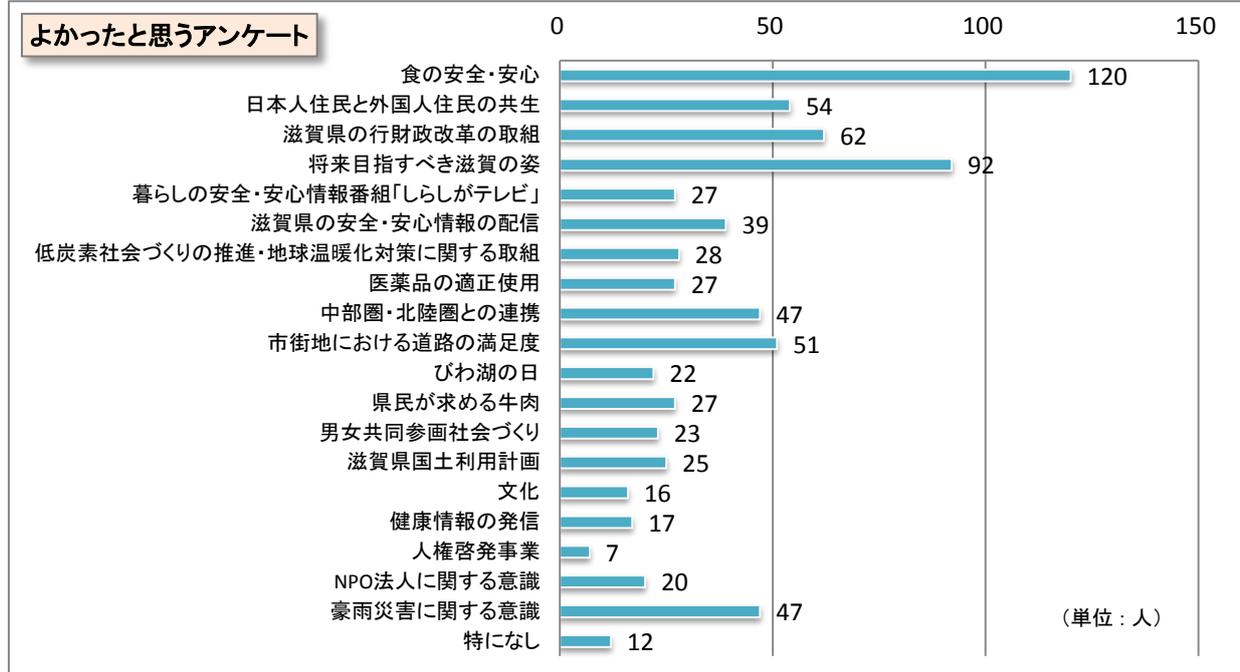
【問 4】1 回のメール配信につき、お願いするアンケートの件数（1～3 件）について、どのように思われますか。（回答チェックは 1 つだけ n=277）

項 目	人数（人）	割合（%）
かなり多い	8	2.9%
どちらかといえ ば多い	74	26.7%
ちょうど良い	182	65.7%
どちらかといえ ば少ない	10	3.6%
かなり少ない	1	0.4%
わからない	2	0.7%
合 計	277	100.0%



【問5】今年度、5月から1月までに実施した19件のアンケートの中で、よかったもの（わかりやすかった、興味深かった、等）を3つまでお選びください。（回答チェックは3つまで可 n=277）

項目	人数（人）	割合（%）
食の安全・安心について	120	43.3%
日本人住民と外国人住民の共生について	54	19.5%
滋賀県の行財政改革の取組について	62	22.4%
将来目指すべき滋賀の姿について	92	33.2%
暮らしの安全・安心情報番組「しらがテレビ」について	27	9.7%
滋賀県の安全・安心情報の配信について	39	14.1%
低炭素社会づくりの推進・地球温暖化対策に関する取組について	28	10.1%
医薬品の適正使用について	27	9.7%
中部圏・北陸圏との連携について	47	17.0%
市街地における道路の満足度について	51	18.4%
びわ湖の日について	22	7.9%
県民が求める牛肉について	27	9.7%
男女共同参画社会づくりについて	23	8.3%
滋賀県国土利用計画について	25	9.0%
文化について	16	5.8%
健康情報の発信について	17	6.1%
人権啓発事業について	7	2.5%
NPO法人に関する意識について	20	7.2%
豪雨災害に関する意識について	47	17.0%
特になし	12	4.3%

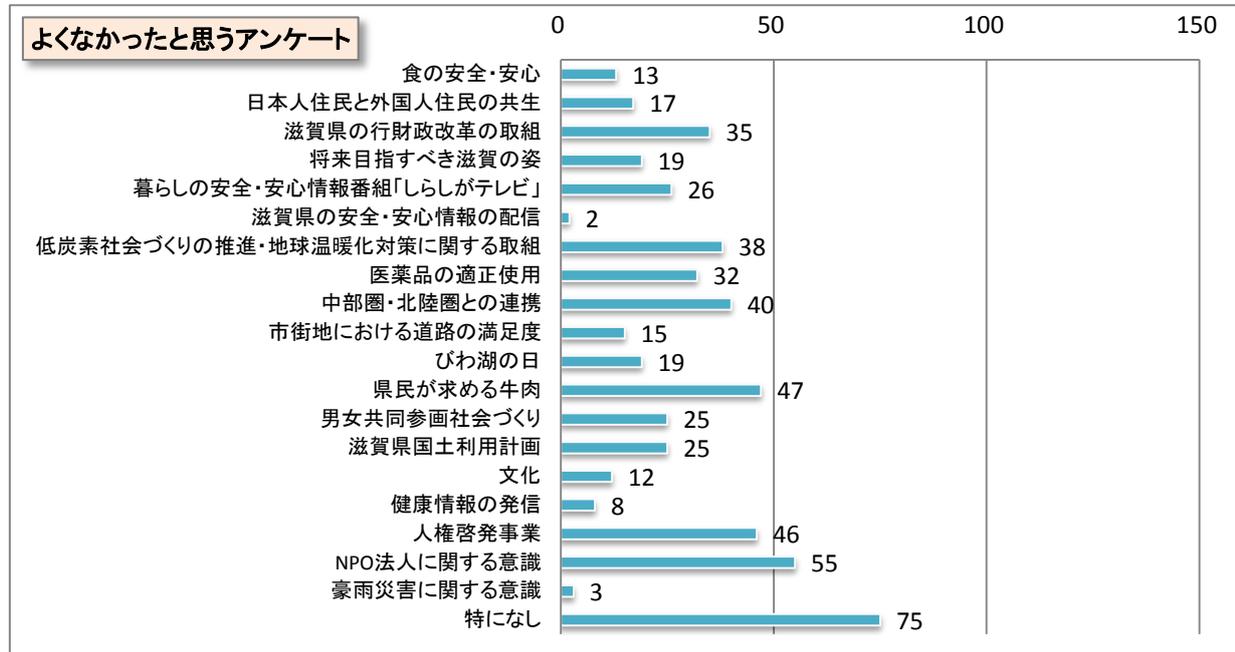


<よかったと思う理由（抜粋）>

- ・ 県民の意見を取り入れてほしい身近なテーマだったから
- ・ 自分自身が特に関心を持っているから
- ・ なかなか知りえない詳しい情報を得られ、県政への理解を深められたと感じたから
- ・ 参加する人からの視点が必要だと思うから
- ・ 県の施策を知って、自分の意見も発したかったから

【問6】今年度、5月から1月までに実施した19件のアンケートの中で、よくなかったもの（難しかった、意味がわからなかった、等）を3つまでお選びください。（回答チェックは3つまで可 n=277）

項目	人数（人）	割合（%）
食の安全・安心について	13	4.7%
日本人住民と外国人住民の共生について	17	6.1%
滋賀県の行財政改革の取組について	35	12.6%
将来目指すべき滋賀の姿について	19	6.9%
暮らしの安全・安心情報番組「しらしがテレビ」について	26	9.4%
滋賀県の安全・安心情報の配信について	2	0.7%
低炭素社会づくりの推進・地球温暖化対策に関する取組について	38	13.7%
医薬品の適正使用について	32	11.6%
中部圏・北陸圏との連携について	40	14.4%
市街地における道路の満足度について	15	5.4%
びわ湖の日について	19	6.9%
県民が求める牛肉について	47	17.0%
男女共同参画社会づくりについて	25	9.0%
滋賀県国土利用計画について	25	9.0%
文化について	12	4.3%
健康情報の発信について	8	2.9%
人権啓発事業について	46	16.6%
NPO法人に関する意識について	55	19.9%
豪雨災害に関する意識について	3	1.1%
特になし	75	27.1%

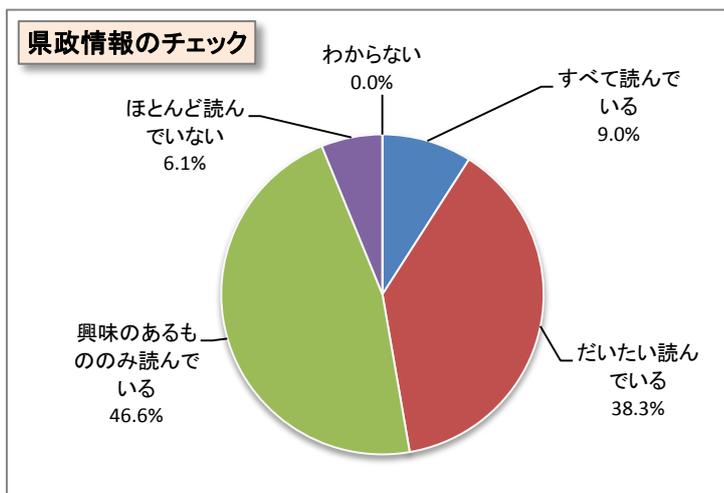


<よくなかったと思う理由（抜粋）>

- ・ 日常の生活からかけ離れた課題で、資料も不足しているので、回答しづらかったから
- ・ アンケートの意図が見えづらく、アンケートが活かせるのか疑問に感じたから
- ・ 興味がないので
- ・ 県政の問題として考えることに違和感があったから
- ・ 資料やデータなどを読み込まねばならず、難しかったから

【問7】毎月、メールでアンケートへの回答をお願いする際に、県からのお知らせや募集等の県政情報を併せて記載していますが、県政情報も読まれていますか。(回答チェックは1つだけ n=277)

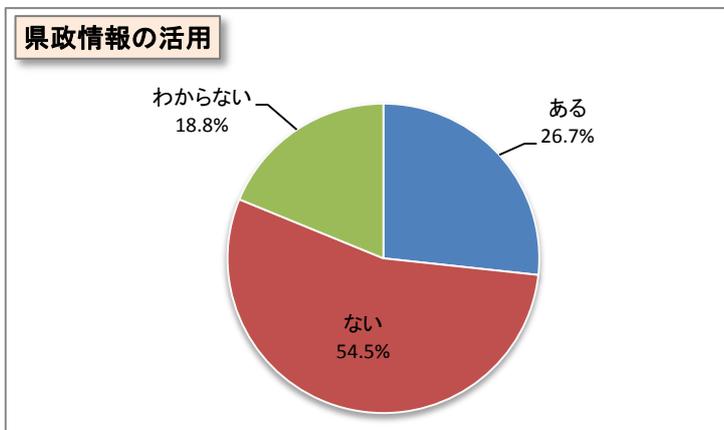
項目	人数(人)	割合(%)
すべて読んでいる	25	9.0%
だいたい読んでいる	106	38.3%
興味のあるもののみ読んでいる	129	46.6%
ほとんど読んでいない	17	6.1%
わからない	0	0.0%
合計	277	100.0%



【問8】アンケートや県政情報から得た情報を活用されたことはありますか。

例：県政情報に記載のイベントに参加した、アンケートで知ったWEBページを見るようになった、等
(回答チェックは1つだけ n=277)

項目	人数(人)	割合(%)
ある	74	26.7%
ない	151	54.5%
わからない	52	18.8%
合計	277	100.0%



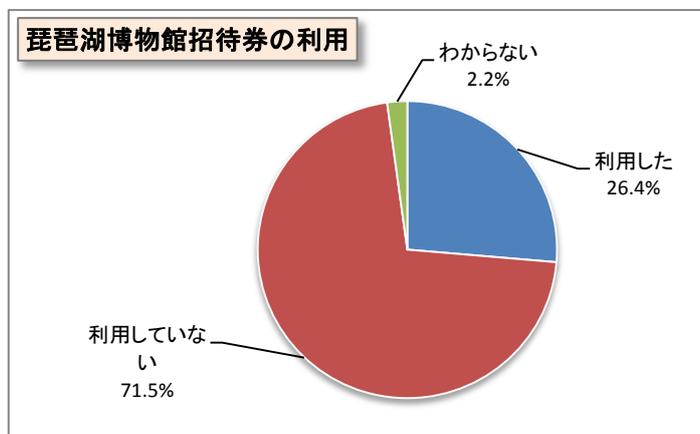
<具体的な内容>

- ・ イベントや講座に参加した
- ・ アンケートで知ったWEBページを見るようになった
- ・ 「しらがテレビ」や「滋賀プラス1」、滋賀県のホームページなどを、より意識して閲覧するようになった
- ・ 職場で話題として、意見交換に使ったりした
- ・ 防災マップや河川水位情報、食のホームページなどを参考にしている
- ・ メルマガ登録
- ・ イベント情報の発信や、他府県の方との交流の場での話題としても活用できた
- ・ 健康のテレビをみるようになった
- ・ 知人や家族にも教えたりしている

【問9】モニター委嘱の際に、委嘱状と一緒に県立琵琶湖博物館および県立近代美術館のご招待券をお送りしましたが、これらの招待券を利用されましたか。(回答チェックは1つだけ n=277)
また、利用された方は、観覧された感想もお聞かせください。

◆琵琶湖博物館

項目	人数(人)	割合(%)
利用した	73	26.4%
利用していない	198	71.5%
わからない	6	2.2%
合計	277	100.0%

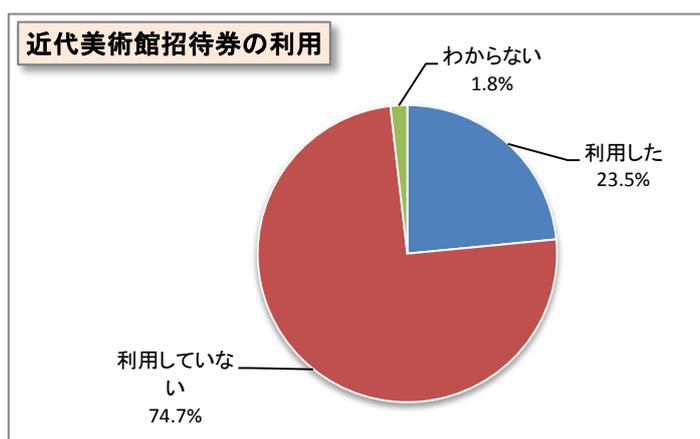


<感想>

- ・魚、昆虫、暮らし、化石・・・生物から歴史・環境など幅広い内容で、一日中いても楽しめた
- ・琵琶湖の生態系を知るいい機会になった
- ・さらに工夫して、もっと県内外にPRをするべき
- ・一緒に行った子どもが興味を示し、これをきっかけに琵琶湖に住む淡水魚や自然の知識を深めてほしいと思う
- ・体験型の展示やアトラクション展示がもっとあってもいいと思う

◆近代美術館

項目	人数(人)	割合(%)
利用した	65	23.5%
利用していない	207	74.7%
わからない	5	1.8%
合計	277	100.0%

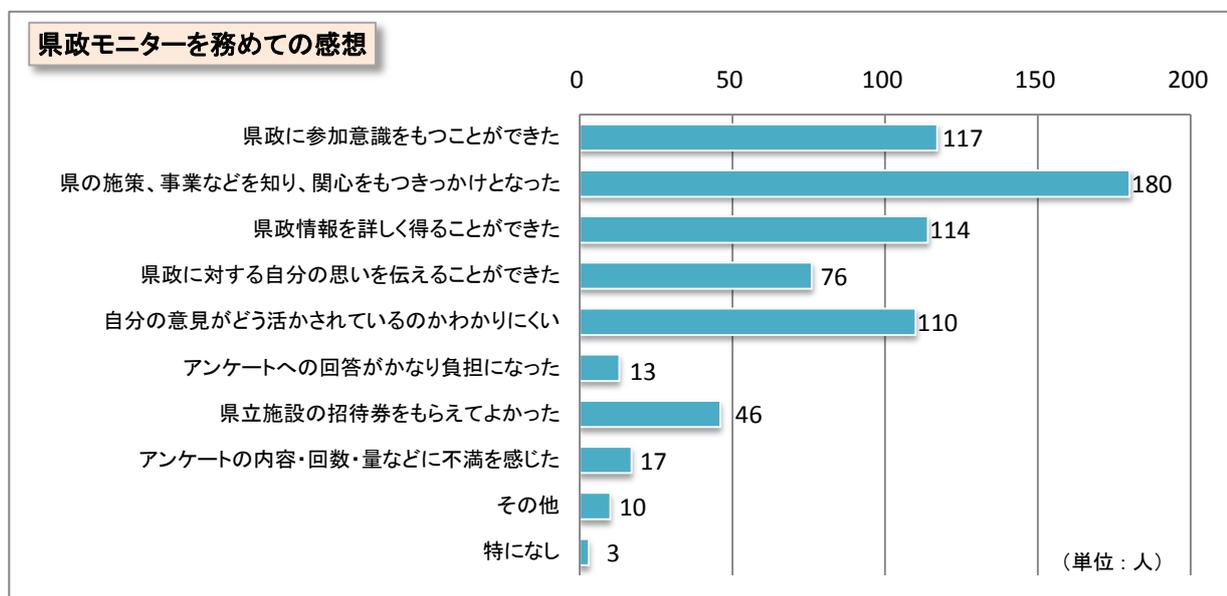


<感想>

- ・広い空間があり、落ち着いた雰囲気。新生美術館も楽しみにしている
- ・大人にはとても魅力ある美術館。展示内容にもよるが、子供には退屈だったかも
- ・日本の文化芸術の素晴らしさを再認識した
- ・アクセスがやや不便に感じたが、内容はとてもよかった
- ・小規模ではあるが、素晴らしかった。解説してもらえたので作品に対する理解が深まった
- ・今度の企画展にいくつもり

【問10】今年度県政モニターを務めて、どのように感じましたか。次の中からあてはまるものを
いくつでもご回答ください。(回答チェックはいくつでも可 n=277)

項目	人数(人)	割合(%)
県政に参加意識をもつことができた	117	42.2%
県の施策、事業などを知り、関心をもつきっかけとなった	180	65.0%
県政情報を詳しく得ることができた	114	41.2%
県政に対する自分の思いを伝えることができた	76	27.4%
自分の意見がどう活かされているのかわかりにくい	110	39.7%
アンケートへの回答がかなり負担になった	13	4.7%
県立施設の招待券をもらえてよかった	46	16.6%
アンケートの内容・回数・量などに不満を感じた	17	6.1%
その他	10	3.6%
特になし	3	1.1%

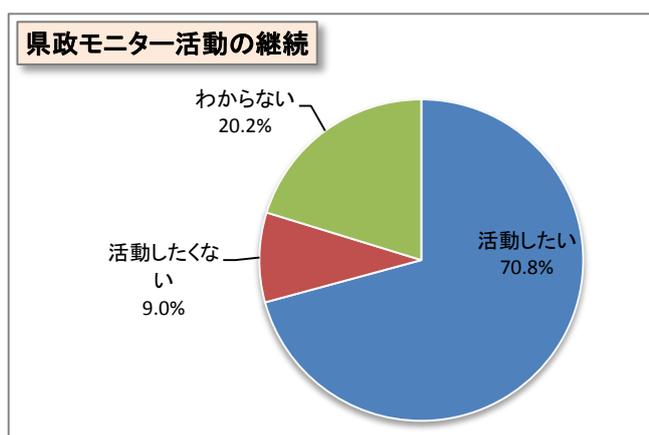


【問11】あなたは、来年度も継続してモニターとして活動したいと思われませんか。

※県政モニターの任期は1年で、毎年度公募により決定しています。

(回答チェックは1つだけ n=277)

項目	人数(人)	割合(%)
活動したい	196	70.8%
活動したくない	25	9.0%
わからない	56	20.2%
合計	277	100.0%



【問 1 2】その他、県政モニター活動について、ご意見・ご感想などございましたら、お聞かせください。

(抜粋)

- ・毎年同じではなく新しい枠組みで、色々な分野でアンケートを実施してほしい。
- ・このような機会がなければ県の取り組みがわかりにくいという点では、いろいろな問題に触れることができ、関心を持つ契機になったと考えます。一方で、他の方はどのように考え、全体にはどのような傾向があるのか、どのように各意見を参考にされているのかが、わかりにくいと感じる。
- ・質問が何に生かされるのか疑問に思うようなことがある。アンケートがどのように活用されているのかもわからない。結局、職員の定規にあてられているような気がする。
- ・普段、県政についてはいろいろと考えることが多く、特に滋賀県の将来のあるべき姿や、こうなってほしいというイメージを持っているため、それらの意見を実際に伝えることが出来る場があるというのはありがたい。少子高齢化が進行し、人口減少時代に入中、滋賀県が生き残っていく道、そしてより魅力的な活力ある県となっていくにはどうすればよいのかということについて、改めて考える良い機会となった。
- ・なかなか自分から積極的に知ろうとしないことが多かったので情報を得られて良かったと思います。また、そのようなことについて考えるきっかけも得られたのでいい経験となりました。モニターから得られた意見はどのように県政に関係していくのかということを知れたらなと思います。
- ・モニターをすることで県政への参加意識の向上につながり、また、日頃の県で行われている施策にも興味をもつようになった。
- ・このアンケートがどのように活かされているのかは知りたい。県政が良くなる為の真のアンケートなのかアンケートをする。という仕事だけのためのアンケートなのかかわからないから・・・。ただ、県政のこと全く知らなかったので簡単に大枠の情報として知る為にはとてもよかった
- ・一般県民の視点から、特定の事業や話題に対して意見を出せる機会があることは素晴らしい。役人目線だけで行政を進めると一方通行になりがちで、必ずしも住民の公益にかなっていない場合があるから。
- ・県政モニターから収集した意見が、具体的にどの事業で、どのように反映されたのかも、ホームページなどで公表してもらえると、一層、県政への参加意識が向上すると思う。
- ・他のモニターがどのような考えかを知るため、モニターが出席して話し合う会を毎年開催してほしい。
- ・県の政策にどのように反映されているのかはいまひとつ感じづらく、「アリバイ証明」的に県の政策を正当化するために利用されているのであれば、きわめて残念。
- ・今年度のアンケートの集計結果を見て、最初は回答率が高いが徐々に下がっていく傾向が見られ、県のモニターに対する期待度が理解しにくく感じました。モニターも自分の意見だけでなく、自分の周囲だけでも話題を提供し情報を収集する方が良いと感じました。
- ・県民側の意見を聞いてもらうことには大きな意義があると思う。ぜひ続けていただきたい。
- ・普段、あまり関心がなく政策や広報を見ないので、こういう機会は非常にありがたい。アンケートを見て、イベントに行けなくても、自分で調べるたりして、周りの人との話題にできた。
- ・アンケート結果、特に自分の意見がどうなったのか、活かされたのか、影響が少しでもあるのかなどが見えにくく、わかりづらい。県政モニターが集い、県と直接ディスカッションできる場があれば、活動にもっと県政への参加意識が持てると思います。インターネットのみのアンケート調査は一方通行で、なかなか伝わらない、伝えにくい回答欄や、黒か白かだけではない回答もあると思う。
- ・公聴会などの席で発言するのではなく、状況に惑わされることなく一度記した内容を再度読み返し、自分の考えを慎重に表現できる、このモニター形式での発言は思っていた以上に考えをまとめる良い機会であったと感じました。
- ・アンケートのみなら無作為が良い。県政モニターには色々な参加形式を試み最良の効果を期待すべき。

- ・市民の意見を聞く上で有効であるが、自分の意見が反映されているかわからない。この手のアンケートは他の例から一回 200 円くらいに相当すると思われる。回数の割に謝礼は少ないかもしれない。
- ・アンケート項目についてですが、現在の県の施策に関する質問が多いと思いますが、もう少し現状に即した、タイムリーな問題、県民に密接したテーマ等を加えたらいかがでしょうか。
- ・モニター結果がその後どのように生かされ、展開されようとしているのか、モニター側から見た時物足りなさを感じます。県広報部署としてもっと“県政モニター”の位置づけを明確にしては。人々に意見を、それも年間を通して求めるなら「それなり」に以後のケアを頂きたい。
- ・県政モニターがあることをもっと多くの人に知らせてほしい。
- ・形式的に意見を求めているのではないかと思われるものもあり、モニターにかかる必要性があるかどうか見極めていただく必要もあるように思います。
- ・職員と県民の意識がずれているアンケートが多い。内容がマンネリになっている。
- ・アンケートが送られてくるたび、県政を身近に感じることができました。以前のように、知事やモニター同士が出会ったりする機会があれば、と思います。
- ・ほとんどのアンケートは想像通りの結果だと思いますが、時々、予想外の意見が多いところに、アンケートの継続意義があると思います
- ・モニター活動を通して、県がどういうことに力をいれて施策、事業を行おうとしているかを知ることができ、県政への参加意識を持てて非常に良かった。
- ・1件あたりの質問の数が多いので、かなり時間的に拘束され負担に感じた。
- ・大人の意見ももちろん必要だと思いますが、小中学生の意見も同じように求めてみてはどうでしょうか。今どきの子どもは、意外にしっかりした意見を持っていますよ。
- ・県政をより広く理解していただくための、ユニークなモニター制度のあり方を、真剣に検討願いたい。広報の仕事は、県民の意見に耳を傾ける広聴の充実なくして成り立たないと思う。
- ・どのような方がモニターをされていて、モニターが送付した結果がどのように県政に生かされているかを知りたいと思います。
- ・もっと県政にお役に立ちたいと思っております。アンケートだけでなくシンポジウムやタウンホールミーティングなどに参加できるような機会があればよいと思いました。
- ・全体として漫然としたアンケート記述のように感じました。スタンスの定まらない議論は、単なる井戸端会議となるので同じで、何ら結論を得ることはできません。
- ・毎月、アンケート依頼メールが来るのが楽しみで、今月はどんなアンケートかな？と思いながらメールを開いています。関心のなかった事項についてもアンケートがきっかけでいろいろ詳しく滋賀のことを知る機会にもなり、モニターに参加できて良かったと思っています。

【問13】今年度実施したアンケートの事業に関すること、またはその他県政に関することでご意見などがございましたら、お聞かせください。(抜粋)

◆地域・まちづくり・防災

- ・行政や各自治体、自治会が連携し、よりよい滋賀県の社会作りをもっと積極的にできないものか？もっと各地域の問題点を洗い出してほしい。
- ・滋賀県は、湖南・湖東・湖西・湖北と気候や風土もまるで違い、利便性も高い南部と過疎化の進む県西部・北部とそれぞれ抱える状況は全く違います。それらをしっかりと認識し、地域ごとの抱える課題を確実かつ迅速に解決するよう県と市町とが連携して取り組んでいていただきたいと思います。
- ・地域のまちづくりやまちおこし等に関心を持っております。田舎の小さな地域においても、まちづくりにやる気をもって取り組める支援体制や情報が欲しい。
- ・南高北低という言葉があるようにどうしても南が重点になってしまうことは多いと思います。人口的にもそれは仕方ないとは思いますが、これ以上格差の広がりのないよう行政の配慮をお願いいたします
- ・滋賀県は、琵琶湖と近江歴史、貴重な自然資源・歴史の宝庫です。県の南地区は益々発展するが、北地域は衰退しており、地域格差の緩和のための方策を考えることが重要です。
- ・地域振興に具体的にどのように取り組んで行くのか興味があるので、もっと情報発信をお願いします。
- ・自治会は限界集落で空き家や独り住まいの家が進行しており、河川の清掃や除雪など共同体としての活動が維持できず困難な状況です。自治体から河川の清掃や除雪の機械などレンタルできるシステムができないでしょうか。
- ・大津のまちに、活気がなく、街のいたる所がみすぼらしくなっているのが心配。歩道橋、車道-歩道のフェンスなど、小さな修理、塗装で町は明るくなると思います。
- ・他県との交流や協働の取り組みなど、地方自治の横のつながりを作ることを積極的に行うべき
- ・県内のテロ対策は重要。
- ・滋賀県として移民問題や防衛などどう考えているのか興味があります。世界ではテロが頻繁におきていて日本人も犠牲になりました。私達はどうか対処していったらよいか知りたいです。
- ・原発関連の情報収集が少なく、原発について無くす方向に動いているのか疑問。
- ・滋賀県の将来が良いものに成るようにして頂きたい。原発稼働により、放射能汚染のリスクが高まっている。地震のリスクも高まっている。安心、安全な暮らしができるように望みます。

◆くらし・しごと・文化・福祉

- ・滋賀は安全でおいしい食材が沢山ある。ブランド化を進め、他府県より安価で購入できれば消費者にも有難い。安全で美味しい野菜が他府県より多く手に入れば、都市圏からのふるさと納税も増えると思う。
- ・歩道の陥没が多すぎる。毎日利用する歩道は、まさに生活の基盤。市町だけでなく県単位で「歩道の陥没の見直し」と「歩道の補修」を早急に始めてほしい。
- ・仕事、育児とかなり大変で、アンケートに回答できないときもあった。民間中小企業でも時短などの労働スタイルが取れるような社会できるよう、官民一体となってやっていただきたい。
- ・滋賀県は車社会の県ですが、やはり若年層や老人には使いにくい道路になっています。安心して歩ける道路を望みます。
- ・新美術館は車がないと行きにくい不便な所がありますが、その分、行ってよかったと思えるような、美しく滋賀らしい建物・展示物にして欲しいです。

- ・「子育て支援」「働く女性の社会参画」が世間でも取り沙汰されていますが、子どもが幼稚園という状況において、「子供は連れてくるな、預かる場所が無い」と言われることもまだまだ多い。
- ・障害者福祉がまだまだ遅れていると思う。
- ・次の国体を目指した施設の充実を期待します。特に、大きな、周辺設備の整った体育館。

◆子ども・教育

- ・他府県から3年前に引っ越してきたのでリアルに感じるのですが、他府県に比べて教育内容、教員レベルが低いと思います。もっと、幼稚園、小学校、中学校の教育に今すぐに力をいれてください。
- ・幼稚園に通っている子供が居ます。小学校など他府県から比べると教育への向上が少ない。人口減少の今後このような教育に力を入れることによって、他府県からの移転が見込まれると思います。
- ・高校生の自転車通学を多く見かけるが、相変わらず無灯火自転車が多くヒヤリとすることが多い。また車道を逆走する人もいます。県立高校生に対して もっと各学校で啓蒙活動をしてほしいです。
- ・今後、安倍政権が教育改革を強引に進めようとする中で、滋賀県における初等中等から高等教育の在り方をどのように考えているのか、また実際にどのような取り組みを実施しているのかを知りたい。
- ・滋賀県を支える若い世代、子供の成長（虐待ゼロ）を支えていける住みよい滋賀県を目標にした取り組みを是非進めて頂きたいと思います。経済も大事ですが、将来を支える若い世代の健やかな成長は最重要課題と思いますので。

◆環境・自然・琵琶湖

- ・琵琶湖の外来種の水草対策が気になっている。プールを衛生的に保つ装置や自宅で金魚などを飼う水槽の浄化装置などのようなもの（なるべく省エネ・省メンテで常時稼働のもの）が琵琶湖にも必要と思う。
- ・夏休み中に県立施設の一部を無料開放する「節電クールライフキャンペーン」。地球温暖化の中で、多くの方に利用を促すことで、家庭の冷房を節約し、省エネできるのでとてもいいなと思いました。
- ・愛知川近くには河川林が多く茂っており、多くの昆虫、植物の宝庫です。また、夏は涼しく、冬は防風の役目を果たし、多くの人々が散歩に利用しています。しかし近年伐採が頻繁にされていて、滋賀県自らが自然を破壊しています。滋賀県の良さは、琵琶湖を中心とした自然環境です。公共工事等による河川の砂利採集、山林開発を是非やめてほしいと思います。
- ・環境問題（特に原発について）に取り組みをするべし。琵琶湖の水は滋賀県民だけではなく、全国民の問題だと思う。安心、安全に暮らせるようにしてほしい。

◆広報・観光

- ・滋賀県はテレビや雑誌などで話題にあがることも少なく残念に思っています。もっと滋賀県のイメージアップを計れるような活動(宣伝)を期待しています。
- ・滋賀県から全国への発信力を強めて、他県の人々は滋賀と言えばびわ湖としか思い浮かびませんが、それを上回るインパクトのある食べ物やびわ湖でのアクティビティを活発にしていってらうかと思いません。また、県民の協力が必要であることをアピールしていった方がいいのではないのでしょうか。
- ・東京(有楽町)のアンテナショップをもっと元気に、行きたくなる雰囲気づくりを工夫して、活気あるものにしてほしい。
- ・各事業の取り組みはどれも前向きなものと思う。ただ、日常生活の中でそのような取り組みを知る機会があまりにも少ないと感じた。県政モニターをしていなければ知りえないことも多く、せつかくの向上的、希望を持てる取り組みをされているので、もっと一般県民に知れわたるように工夫してほしい。(商業施設でのアピール、テレビ配信、ネット配信、メール配信、ポスターなどで)

◆ 広聴・モニター

- ・モニターだけの意見で良いものと、広く知人等に話題を提供し、それをアンケートに活かす方法と内容によって、メリハリをつけた方法が採れないか検討頂いたら如何でしょうか。
- ・アンケート結果を表にあらわすだけでなく、そのアンケートを企画した部署等が、アンケートで出た意見について、どう感じるか、又、どのように今後活かしていくかの具体的な意見も述べて欲しい。折角アンケートを行っているのだから、アンケートを活かした県政を行って欲しい。
- ・前年度は県政フリートーキングに参加できる機会を得て、生の県政取組みに大変興味と関心を持ちました。この様な機会がより多くなれば、的を射た県政に対する自分の意見もお伝えできるのですが。
- ・アンケート結果がすべてとは言えないが、意見がどのように反映しているかわかるほうがよい。また、県会議員の方々にもアンケート結果を周知して、形式的な議会運営より、現在の滋賀県をよくするための議会運営を希望する。
- ・アンケートの集計はなされているが、その結果を県政にどう生かしたか等の経過が見えてこない。また、直接、県政モニターから意見等を聴く機会を増やすべきではないか。また、県政の将来を見え据えた構想等が見えてこない。全国にないような先進的な取り組みを期待しています。
- ・何年かして、このアンケートの結果、及び県が実行された成果を確認できればより良いと思います。

◆ 県政全般・その他

- ・もっと、わかりやすく、施策や条例を周知してほしい（イベントも含めて）。ほとんどの県民は県政にそこまで関心がなく、「聞かなければ教えなくてもいい→関係ないから聞かない、知らない」の、悪循環に感じる時があります。
- ・もっと、たくさんの方が県政を身近に感じられると良いと思います。
- ・次の国体を目指した施設の充実を期待します。特に、大きな、周辺設備の整った体育館。
- ・県政の事業で計画しているもの、実施しているものももっとわかりやすく、見えやすくなってほしい。
- ・限られた予算をどう有効に使うのか、しっかり見直しをしていたただきたいと思います。アンケートをはじめとして、県民の意見も反映いただき、検討してほしい。ただ、万人を満足させることはできないので、優先順位をよく検討いただきたいと思います。
- ・国、県、市の行政が縦割りで問題が起こった場合どこに連絡したら良いのか分からないことがある。道路や河川の清掃、修理なども管轄によって妙にきっちり分けられています。行政の壁を少しでも取り除く努力をして頂きたい。防災、医療とか介護、等々今後とも壁による無駄遣いや不統一な対処が少しでも無くなるのが望ましいと思っています。
- ・県と県民との距離をより近づけなければ、必要な問題意識も、知恵出しも、意見集約も困難になると感じます。より広い県民の思いと知恵が発揮集約される工夫を期待します。
- ・県政は民意を反映するも、大衆迎合に陥らないこと。
- ・職員は県民の意識を理解するよう努めてほしい。多くの職員は県民の意識を理解しないままに勤務しているように思われる。
- ・もっとたくさんの方が県政や滋賀県に興味をもって、滋賀県が盛り上がればと思います。
- ・滋賀県はたくさんいいところがあるのに全国的にみるとどうしても印象の薄い県であることは否めないと思う。滋賀県でしかできないこと、できないもの作りをして、どんどん全国に発信し、日本や海外の人たちをたくさん呼び込めるように考えていきたい、という気持ちがモニター活動を通して大きくなっていきました。